

2025年

(令和7年)

12月13日

土曜日

東京新聞

中日新聞東京本社
〒1008505 TEL 03-6910-2211
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号

埼玉

都内から通いやすい
埼玉県公安委員会指定
八潮自動車教習所
フリーダイヤル
0120(51)8410

スタッフ
募集中!!

県内の天気

	きょう	あす
さいたま		
熊谷		
秩父		

きょうの予想 (さいたま)
降水確率
朝0% 昼10% 晩20%
気温
最高9度 最低0度
北日中東の風

さいたま支局
〒330-0063
さいたま市浦和区
高砂3-12-24
小峰ビル2F
電話 048-834-0300
FAX 048-834-0511
mail:saitama@tokyo-np.co.jp
通信局・部
越谷 048-989-7770
羽生 048-561-2523
川越 049-223-8814
秩父 0494-22-1596

「深谷本陣」大学院生が保存案



①和宮が休んだと伝わる上段の間
②深谷本陣跡 (いずれも埼玉建築士会の中野万紀子さん提供)

区画整理進める市、実現策検討へ

江戸時代、中山道にあった深谷宿(深谷市)に今も一部現存する「本陣跡」を、ものつくり大(行田市)の大学院生が調査し、保存案を作成した。本陣を務めた家の子孫や一帯で区画整理を進める深谷市は、提案を受けて実現可能な計画を検討する考え。本陣跡は徳川将軍に嫁ぐ皇女和宮が休んだという部屋ゆかりの品々が残り、将来的に中心街の活性化に向けた一般公開に期待がかかる。(菅原洋)



本陣は大名や公家などが休泊した建物。市や子孫によると、戦国武将の武田家に仕えた飯島家が主家の滅亡後に深谷に移り、設置につながったと伝わる。建物は一度焼失したが、1712(正徳2)年に再建され、当時の棟札が残る。明公園に建物を保存する案を、治初めまで本陣を担い、書院造りなどの6部屋が現存している。1958年に市有形文化財に指定された。保存案をまとめたのは、同大文化財建造物修復学研究室の大学院修士課程1年の金田みずきさん(22)＝東京都。横山晋一教授による指導の下、区画整理で本陣跡を含む場所に予定される公園に建物を保存する案を

一般公開に期待「観光拠点として活用を」

子孫「街の活性化に役立てて」
金田さんは取材に「県内に本陣の遺構は少なく、深谷は貴重。深谷本陣跡は残して復元した上で、公園は市民や観光客が安らげるように整備し、観光拠点として積極活用してほしい」と提案している。
会議には、本陣の子孫の飯島のり子さん(74)も参加。飯島さんは本陣跡には住まず、市内の別の場所です。飯島さんによると、1861(文久元)年に和宮が休んだと伝わる上段の間などが現存し、本人から下賜されたという章履も残っている。13代将軍の家定に嫁ぐ際に休んだ別の姫たちの史料もある。
飯島さんは取材に「本陣跡の部屋が現地の公園に残れば、今は非公開の部屋を公開し、伝来品を展示してもいい。中心街の活性化に役立ててもらいたい」と意欲を見せた。
市によると、1998年度から市役所と深谷駅に近い一帯の23・3区で区画整理を進めている。本陣跡の一帯の敷地1277平方メートルは立ち退き交渉の対象となり、敷地を含む一帯に約2900平方メートルの公園を整備する計画が進められている。市の区画整理課と文化振興課は「子孫の意向をよく聞き、これから検討したい」としている。



和宮から下賜されたという章履(飯島のり子さん提供) 一いずれも深谷市で